

平成22年8月24日

## 平成22年度 地震防災訓練の実施について

東海地震等の大規模地震を想定し、避難誘導訓練、旅客救護訓練、脱線復旧訓練、情報伝達訓練などの地震防災訓練を実施します。

訓練の実施にあたっては、衛星通信を利用して情報収集をするなど、より実践的な訓練となるよう計画しています。

1. 訓練日 平成22年9月1日（水）  
※防災週間8月30日（月）～9月5日（日）
2. 主な訓練内容
  - (1) 対策本部運営訓練
  - (2) 避難誘導訓練（名古屋駅、新大阪駅、掛川駅、岐阜駅等）
  - (3) 災害復旧訓練
    - ・主な訓練実施箇所：浜松工場、名古屋車両区、中津川駅、静岡車両区、伊勢市駅
    - ・主な訓練内容：脱線復旧訓練、軌道及び電気設備復旧訓練
  - (4) 情報伝達訓練
    - ・衛星通信による中継訓練
    - ・TV会議システムを用いた情報伝達訓練
3. 参加人員 約11,500人
4. 広報活動
  - (1) 駅構内及び新幹線・在来線車内にて、地震防災訓練の案内放送を行います。
  - (2) 主要駅構内にて、東海地震の警戒宣言発令時における協力を呼びかけます。

## 1. 対策本部運営訓練

本社及び鉄道事業本部等に地震災害対策本部（本社対策本部（丸の内中央ビル）、東海鉄事対策本部、新幹線鉄事対策本部、静岡支社対策本部、関西支社対策本部、三重支店対策本部）と現地復旧本部（各復旧訓練箇所）を設置し、情報収集、復旧に関する指示等の対策本部運営訓練を実施します。

## 2. 主な避難誘導訓練及び災害復旧訓練等

### ○新幹線輸送指令・新幹線各駅

車内テロップ・駅情報装置等による災害発生時のお客様への情報伝達訓練等を行います。（8月30日～9月5日の間に実施）

### ○浜松工場

地震による新幹線脱線を想定し、横送り装置を使用して復旧する訓練を行います。（9月1日）

### ○栗東保線所・鳥飼保線所

地震時の電気・施設保守用車の相互救援を想定し、連結訓練を行います。（8月30日～9月5日の間に実施）

### ○各新幹線施設・電気現業機関

地震発生後の安全確認を想定した軌道用自動自転車の取扱い訓練や、地震により被害を受けた保守用車を救援する訓練を実施します。（8月30日～9月5日の間に実施）

### ○中津川駅

美乃坂本駅構内で、地震により列車が脱線したとの想定のもと、脱線復旧訓練を実施します。また、警察・消防・医療関係者とともに、負傷者の救護搬送訓練、線路・架線の復旧訓練等も併せて実施します。（9月1日）

### ○伊那松島運輸区

新城駅構内で、地震により列車が脱線したとの想定のもと、脱線復旧訓練を実施します。また、消防とともに、負傷者の救護搬送訓練も併せて実施します。（9月1日）

○名古屋車両区

八田駅構内で、地震により列車が脱線したとの想定のもと、脱線復旧訓練を実施します。また、同時に負傷者の救出訓練、衛星通信を用いた情報収集訓練等を実施します。（9月1日）

○掛川駅

大規模地震が発生したとの想定のもと、自治体・消防・警察等と連携した滞留旅客の避難誘導訓練、負傷者の救護訓練を実施します。（9月1日）

○静岡車両区

地震により列車が脱線したとの想定のもと、脱線復旧、設備復旧訓練、旅客降車訓練を実施します。（9月1日）

○四日市駅

地震により保守用車が脱線したとの想定のもと、枕木交換やレールボンド溶接訓練、トロリ線偏位調整訓練、振止金具取付け取外し訓練等を実施します。（9月1日）

○伊勢市駅

地震により列車が脱線したとの想定のもと、クレーン使用による脱線復旧訓練や線路復旧訓練、避難誘導訓練、列車防護訓練等を実施します。（9月1日）

○旅客避難誘導訓練実施箇所

新幹線各駅及び、岡崎駅、岐阜駅、豊川駅、飯田駅、伊那市駅、美濃太田駅、高山駅、多治見駅